

# 中部経済新聞 2022年10月31日掲載

※著作権取得済み

## 管理部門向け展示商談会

RXJapan 健康経営EXPOを新設  
初の秋開催

見本市運営大手のRXJapan（本社東京都新宿区）はこのほど、千葉市の幕張メッセで管理部門向けの展示商談会「第10回東京総務・人事・経理Week秋」を開いた。今年5月実施の同東京展・春に加え、秋は初めての開催。11月に大阪、来年2月に名古屋でも行い、働き方改革やDX（デジタルトランスフォーメーション）、法改正など管理部門の拡大する課題・ニーズにタイムリーに心えていく。

同東京展・秋では、「健康経営EXPO」を新設。「働き方改革」「HR（人事労務・教育・採用）」「福利厚生」「総務サービス」「会計・財務」「法務・知財」「オフィス防災」「PR」をテーマにした八つの専門展を併せて開催した。

KOMPETIO（同東京都品川区）は、設置型の健康社食サービス「OFFICE DE YASAI（オフィスで野菜）」をPRした。

社内に冷蔵庫・冷凍庫を設置するだけで手軽に導入でき、サラタやフルーツ、



こだわりの野菜、軽食など、1個100円からの豊富なメニューを用意。従業員は

いつでも安価で健康的な食事が取れる。リモートワークを行う従業員宅への配送も可能。

現在、累計導入実績は約5千拠点で、従業員利用率は9割を超える。従業員の食生活支援や満足度向上、オフィス環境の整備など新しい福利厚生として需要が拡大している。

エスプールのラス（同東京都千代田区）は、企業の

障害者雇用を支援する「わくはびねず農園」を紹介。障害者が安全に働ける農園を貸し出し、障害者雇用のサポート付き職場の提供と人材の募集、適性判断、紹介を行う。収穫した野菜は福利厚生に活用できる。

現在、導入企業数は約550社で、約3200人の障害者雇用を創出。愛知県内には8カ所の農園を運用する。

パイオニア（同東京都文京区）は、社用車の事故削減や、車両管理と営業・運行業務の効率化を図るクラウド型運行管理サービス「ビークルアシスト」を展示した。車両の動態管理や危険運転の通知・分析、安全運転指導の自動化から運行コース、日報・業務レポートの自動作成などを行うほか、アルコールチェック義務化にも対応する。